

CASBEE[®]-不動産

【集合住宅】

評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-不動産 2024年版

v1.0

建物概要					
建物名称	レフィールオーブ南行徳駅前	敷地面積	1,521 m ²	評価の段階	運用段階評価
建設地	千葉県市川市	建築面積	644 m ²	評価の実施日	2025年5月21日
用途地域	近隣商業地域、防火地域	延床面積	7,629 m ²	作成者	米田 拓朗
建物用途	共同住宅	地上14F		不動産評価員番号	ふ-001471-29
竣工年月	2022年1月13日	階数		確認日	2025年11月4日
直近の大規模改修実施年月		構造	RC造	確認者	米田 拓朗
		平均居住人員	294 人	不動産評価員番号	ふ-001471-29
		年間使用時間	8,760 時間/年		

評価結果									
73.2 /100		合計		ホールライフカーボンの評価				評価しない	
(得点 / 満点)									
S ランク:★★★★★		78							
A ランク:★★★★		66							
B+ランク:★★★		60							
B ランク:★★		50							
		ポイントは小数点第1位までの表示とする				取組項目数：A1-A5		B1,B3-B5	
						B6-B6		C1-C4	

1. エネルギー／温暖化ガス					
評価	最大加点	必須項目	指標（*は参考値）	評価値	
適合	加点 1	根拠等	:省エネルギー基準への適合、目標設定、モニタリング、運用管理体制	一次エネルギー(目標値)	452 MJ/m ² ・年
15.0	20 / 15	1.1 使用・排出原単位(計算値)	実績値より省エネ基準への適合、年間実績を把握、ベンチマーク比較実施、次年度省エネ目標設定	一次エネルギー(計画値)	456.2 MJ/m ² ・年
		根拠等	実績値より	二次エネルギー(*)	46.7 kWh/m ² ・年
4.0	5	1.2 使用・排出原単位(実績値)	共用部の評価	GHG排出量(*)	20.1 kg-CO _{2eq} /m ² ・年
		根拠等	エネルギー消費量実績値一覧参照	一次エネルギー(実績値)	456.2 MJ/m ² ・年
			二次エネルギー＝一次エネルギー/9.76	二次エネルギー(*)	46.7 kWh/m ² ・年
			GHG排出量を算出する係数は0.429kg-CO2/kWh(電気)	GHG排出量(*)	20.1 kg-CO _{2eq} /m ² ・年
2.0	- / 5	1.3 省エネルギー(仕様評価)	専有部の省エネ対策		
		根拠等	3)、6)	導入された対策項目数	2.0 項目
3.0	5	1.4 自然エネルギー(間接利用)			
		根拠等	導入なし	利用率	0.0 %
24.0	30.0	合計			

2. 水					
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値	
適合		根拠等	:目標設定、モニタリング、運用管理体制	水使用量(目標値)	88.0 L/m ² ・年
	0	2.1 水使用量(計算値)	評価しない		
2.0	5	2.2 水使用量(仕様評価)			
		根拠等	2)	取組数	1 項目
4.0	5	2.3 水使用量(実績値)		水使用量(実績値)	88.9 L/m ² ・年
		根拠等	水使用量実績値一覧参照		
6.0	10	合計			

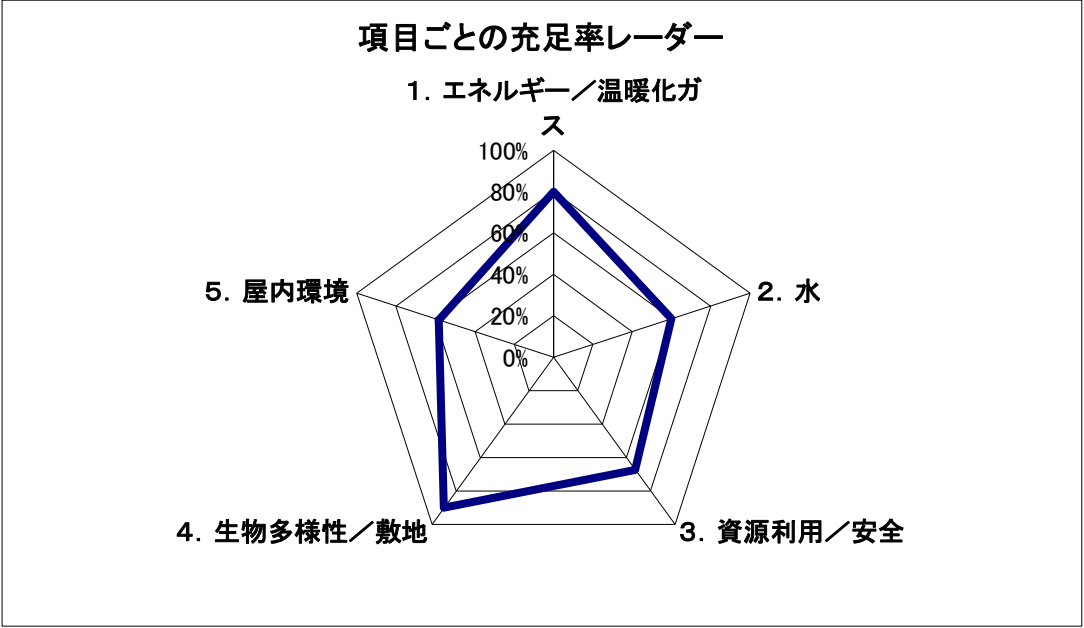
3. 資源利用／安全					
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値	
適合		根拠等	:新耐震基準への適合またはIs値、If値		
3.0	5	3.1 高耐震・免震等	3.1.1と3.1.2の点数の高い方で評価	なし	
3.0		3.1.1 耐震性			
		根拠等	建築基準法に定められてた耐震性を有する		
3.0		3.1.2 免震・制震・制振性能			
		根拠等	導入していない		
4.0	5	3.2 再生材利用率・廃棄物処理抑制	3.2.1と3.2.2の平均で評価する		
		3.2.1 再生材利用率	①と②の平均で評価する		
3.0		① 躯体材料	用いていない	リサイクル材品目数(非構造材)	3 品目
5.0		② 非構造材料	リサイクル材を用いている		
4.0		3.2.2 廃棄物処理抑制		取組数	4 ポイント
	加点 1	根拠等	1)、2)、3)、6)		
3.0	5	3.3 躯体材料の耐用年数		経過年数＋今後の想定耐用年数	年
		根拠等	建築基準法に定める対策が講じられている	3.4.1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の平均	
3.5	5	3.4 主要設備機器の更新必要間隔／設備の自給率向上／維持管理／バリアフリー		更新年数の平均値	20 年
4.0		3.4.1 主要設備機器の更新必要間隔		自給率向上の取組数	1 項目
		根拠等	計算式より	維持管理に関する取組数	13 ポイント
2.0		3.4.2 設備(電力等)の自給率向上			
		根拠等	4)		
5.0		3.4.3 維持管理			
		根拠等	1)～6)		
3.0		3.4.4 バリアフリー対策			
		根拠等	整備項目表の半分以上を満たしている		
13.5	20	合計			

4. 生物多様性／敷地					
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値	
適合		根拠等	:特定外来生物・未判定外来生物・生態系被害防止外来種を使用しない		
		根拠等	特定・未判定外来生物、生態系被害防止外来種を使用している	なし	
10.0	10	4.1 生物多様性の向上		②取組数による場合のポイント数	3 ポイント
		根拠等	1)、3)、5)		
4.2対象外の時は点数を倍)		4.2 土壤環境品質・ブラウンフィールド再生			
0.0	0	根拠等	土壤汚染対策法に基づく汚染除去等の区域指定にない	なし	
[対策不要は対象外]		4.3 公共交通機関の接近性			
5.0	5	4.3.1 公共交通機関の接近性		鉄道駅またはバス停からの距離	8 分圏内
5.0		根拠等	鉄道:南行徳駅 徒歩4分		
		4.3.2 交通結節点への接近性、敷地周辺への配慮	評価しない		
3.0	5	4.4 自然災害リスク対策		リスクの合計数	4 種類
		根拠等	リスクの合計数は4種あり、3種については有効な防災対策を実施している		
18.0	20	合計			

5. 屋内環境					
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値	
適合		根拠等	:建築物衛生管理基準の準拠または質問票への適合	なし	
		質問票への適合			
		5.1 自然利用			
1.6	3	5.1.1 屋光利用	5.1.1の点数×2/3+5.1.2の点数×1/3		
2.0		5.1.1.1 自然採光		開口率	27.4 %
		根拠等	計算式より	屋光利用設備	0 種類
1.0		5.1.1.2 屋光利用設備			
		根拠等	屋光利用設備がない		
1.0	3	5.1.2 通風・排熱			
		根拠等	居室の自然換気開口がある		
1.0	3	5.1.3 眺望・ゆとり		天井高	m以上
		根拠等	レベル2を満たさない		
		5.2 健康・快適			
1.0	2	5.2.1 暑さ・寒さ			
		根拠等	レベル2を満たさない		
2.0	2	5.2.2 主要な居室の冷房・暖房			
		根拠等	居室に冷暖房装置を実装している		
2.0	2	5.2.3 化学汚染物質対策・適切換気			
		根拠等	化学汚染物質を抑える建材を用いている		
1.0	2	5.2.4 騒音・遮音			
		根拠等	レベル2を満たさない		
2.0	3	5.3 防犯対策			
		根拠等	エントランスにセキュリティシステムの設置、かつITVカメラ監視		
11.6	20	合計			

6. ホールライフカーボンの評価 [任意]					
評価	最大(加点なし)	指標	評価値		
5		取組数	A1-A5		項目
			B6-B7		項目
			B1,B3-B5		項目
			C1-C4		項目
↑ 評価しない場合は空欄					

レフィールオーブ南行徳駅前



環境性能の特徴